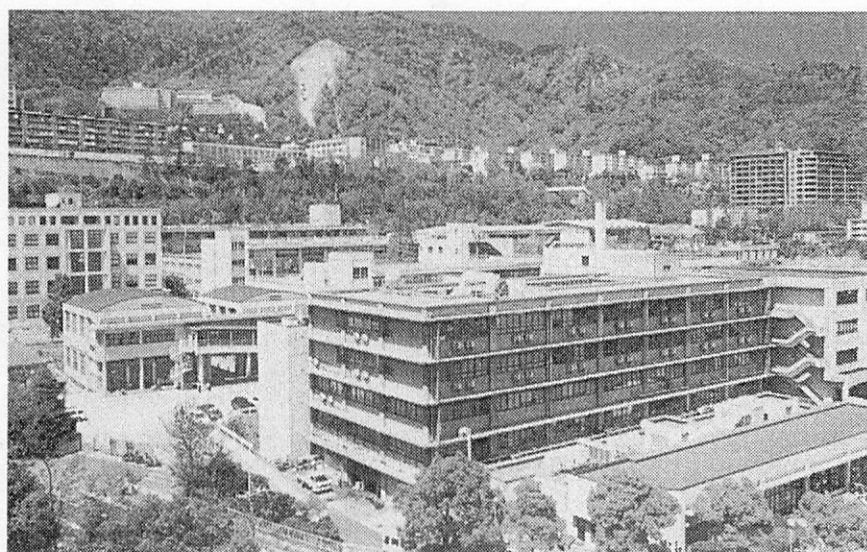


日本高等教育学会第6回大会

発表要旨集



平成 15 年 5 月 24 日 (土)・25 日 (日)

名古屋大学図書



11461659

戸 大 学

高等教育シリーズ第24集

授業評価から業績評価・FDへの展開——

●発行 2003年3月25日 ●体裁 A4判 328頁

教員評価制度の導入と大学の活性化

～評価・処遇システムの開発と実際～

●定価 27,000円(税込)

第1章 教員評価システムと大学マネジメント ～理念、目標設定、公開意義、海外事例～

- 教員評価システムと大学マネジメント改革
大学評価・学位授与機構 教授 舘 昭
- 教員評価情報の公開意義と大学社会の改革
東海大学 教育研究所所長 安岡 高志
- 教員の職務と人事評価・処遇システム
桜美林大学 副学長 諸星 裕
- 教員評価システムの開発・運用と導入シナリオ
筑波大学教育学系 教授 清水 一彦

第2章 教員評価システムの開発とその実際 ～実施方針、評価基準、運用方法、結果の活用～

- [産能大学] 教育業績を含む教員評価と賞与・昇給システム
(学) 産業能率大学 副理事長 上野 俊一
- [高知工科大学] 教員評価システム開発とその運用
高知工科大学 学生部長・教授 坂本 明雄
- 長崎大学における教員個人評価——その理念と実施方針
長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 渡邊 正己
- [岐阜女子大学] 学生募集・教育力重視の教員人事考課
(学) 杉山女子学園 理事長 杉山 博文
- [弘前大学] 医学部における教員評価システムの構築と運用状況
弘前大学 医学部 教授 土田 成紀/菅原 和夫

第3章 資料編

- A 関連答申等
- B 教員人事の現状と活性化施策
- C 教員の個人評価制度への取り組み
(岡山大/北海道大/京都工芸繊維大/兵庫大短大部)
- D 教員の教育力への取り組み (東京電機大/中京女子大)
- E 学生授業評価アンケート票 (国際基督教大/慶応大 SFC)
- F 教員表彰制度の概要 (東京農工大/福井大/千葉大)
- G FD活動 (大学セミナー・ハウス)

高等教育シリーズ第25集

“教育責任”と“質的管理”を担う大学・大学院へ——

●発行(予定) 2003年4月25日 ●体裁(予定) A4判 約180頁

●定価 19,000円(税込)

成績評価の厳格化と学習支援システム

～GPA運用と学生の履修管理力の育成～

第1章 厳格な成績評価と教育インフラの整備

- 大学教育の品質保持管理
国際基督教大学 学長 絹川 正吉
- 米大学におけるGPA制度とその運用
桜美林大学 副学長 諸星 裕

第2章 GPA運用と学習支援システムの実際

- [桜美林大学] GPAの運用と教務運営の実際
桜美林大学 教務部長・文学部助教授 高村 麻実
- [山梨大学工学部] 退学勧告制度の導入と教育責任
山梨大学 工学部教授・前教務委員長 古川 進
- [青森公立大学] 建学理念としてのGPA制度——開学10年の実績
青森公立大学経営経済学部長・教授 吉原 正彦

- [東京電機大学] 情報環境学部における学習の“自立・主体化”とGPA運用
東京電機大学 情報環境学部長 中村 尚五
- [広島市立大学] 厳格な成績評価を支える制度の工夫と活用の実例
広島市立大学 学長補佐・情報科学部教授 森末 道忠
- [筑波大学] 情報学類・工学システム学類、工学基礎学類におけるGPAの実際
筑波大学 機能工学系教授・アドミッションセンター 白川 友紀
- [徳島大学] 工学部におけるアウトカムズ評価による成績評価
徳島大学工学部教授 英 崇夫
- [上智大学] 成績評価のグローバルスタンダード化とGPAの取り組み
上智大学学事部長・文学部教授 山本 浩

第3章 資料編

関係答申/関連データ等

(執筆時/敬称略)

高等教育シリーズ第26集

21Cの生涯学習・社会人教育を拓く——

編集：通信・遠隔教育研究会

大学・大学院通信教育の設置・運営マニュアル

～通学制とのバーチャル化の中での教育・経営戦略～

●発行(予定) 2003年4月25日

●体裁(予定) A4判 約250頁

●定価 49,000円(税込)

●本書の構成●

- I. 大学改革の中の通信教育
—通信教育に何が起きているか
 - II. 大学通信教育の設置・開設とその運営
 - III. 大学院通信教育の設置・開設とその運営
 - IV. 大学・大学院通信教育と「第三者評価」
 - V. 設置プランと申請書類作成上の留意点
 - VI. 大学・大学院通信教育の設置・運営についてのQ&A
- 資料編

インターネットでのご案内は ⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>
E-mail での問い合わせは ⇒ kkj@chiikikagaku-k.co.jp

日本高等教育学会
第6回大会準備委員会

<委員長>川嶋 太津夫
<委員>瀧上 凱令、波田 重熙、小川 正賢、
米谷 淳、山内 乾史、白鳥 義彦

名古屋大学図書



11461659

大会日程

5月23日(金)

17:00~19:00 理事会(会場 E棟中会議室)

5月24日(土) 9:15~受付

会場	10:00~12:00 自由研究発表 I	昼食	会場	13:00~15:00 自由研究発表 II	会場	15:10~17:40 課題研究1・2・3	懇親会 18:30~
K202	自由研究1 大学教育改善の国際 的動向	12:00~ 13:00 編集委 員会(E 棟中会 議室)	K202	自由研究6 授業改善	K202	課題研究1 大学財政の多元化と ガバナンスー資金調 達を中心にー	
K301	自由研究2 管理・運営		K301	自由研究7 大学組織の変貌	K301	課題研究2 基礎学力の低下と高 大の接続問題	
K302	自由研究3 学生中心の大学教育		K302	自由研究8 理科教育、医療 系教育	K302	課題研究3 授業評価と教授法の 相互作用	
K303	自由研究4 研究評価・産学連携		K303	自由研究9 カリキュラム			
K402	自由研究5 学生の流動化と国際化		K402	自由研究10 大学の機能変化			

5月25日(日) 9:15~受付

会場	10:00~12:00 自由研究発表 III	昼食	会場	13:00~13:30 総 会	会場	13:40~16:10 公開シンポジウム 「グローバル時代における我が国 高等教育の Quality Assurance をど う実現するか」
K202	自由研究11 教育評価		K202		K202	
K301	自由研究12 大学マネジメントの課題					
K302	自由研究13 大学院・専門職教育					
K303	自由研究14 高等教育政策					
K402	自由研究15 東アジアの高等教育					

大会参加のご案内

参加費：大会参加費（当日）5,000円

懇親会費（当日） 5,000円

*公開シンポジウムは無料にて一般に公開して開催いたします。

学会年会費：大会会場では、学会年会費の納入はできませんのでご了承ください。ただし、住所や所属の変更、新会員の申込書の配布などのための学会窓口は設けます。

入 場：会場および懇親会会場への入場へは、必ずネームプレートをつけてください。原則としてネームプレートのない方は入場できません。なお、ネームプレートは日程終了後受付へお返しください。

呼び出し：会場での呼び出しは行いませんのでご了承ください。連絡事項は、受付近くの掲示板にてお知らせいたします。

食 事：大会中は、国際文化学部食堂で食事ができます。大会当日は弁当を販売いたします。ご希望の方は受付で予約券をお求めください。

宿 泊：宿泊先の手配は各自でお願いいたします。

休憩室：K棟3Fに休憩室（K401）をご用意し、湯茶のコーナーを設けます。荷物のお預かりはいたしませんので、各自の責任でお持ちください。

懇 親 会：会場となりますアカデミア館へは、学会会場より徒歩7分です。

交通案内：JR六甲道駅・阪神御影駅・阪急六甲駅より市バス16番「六甲ケーブル下」行き神大国際文化学部前下車 徒歩1分
会場には駐車スペースが十分ありませんので、自家用車での来場はなるべくご遠慮ください。

大会事務局

〒657-8501兵庫県神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学大学教育研究センター 日本高等教育学会第6回大会準備委員会

TEL: 078-803-7603

FAX: 078-803-7603

E-mail: maiya@kobe-u.ac.jp

※ 24日・25日は携帯（090-9704-8892）におかけください。本部へつながります。

発表者へのお願い

1. 次発表者席

次の発表者は前の発表が始まりましたら、次発表者席（右最前列）にお座りください。事前にお伝えすることがある場合があります。

2. 発表終了時刻のお知らせ

以下の要領でベルを鳴らします。

（個人発表20分、共同発表30分）

1 鈴 個人発表、共同発表とも質疑終了5分前（発表終了時）。

2 鈴 個人発表、共同発表とも質疑終了時。

3. 発表用機械器具

発表申し込み時に申し込まれた機器は準備しております。その他、必要な機材がありましたら事前にお申し出ください。可能な限りご用意いたします。

司会者へのお願い

1. 発表および質疑応答時間

ベルを参考に、予定時間をオーバーしないようご配慮ください。

2. 司会者受付

司会者受付を別に設けますので、来場されましたら、まず受付におこしください。

3. 総括討論

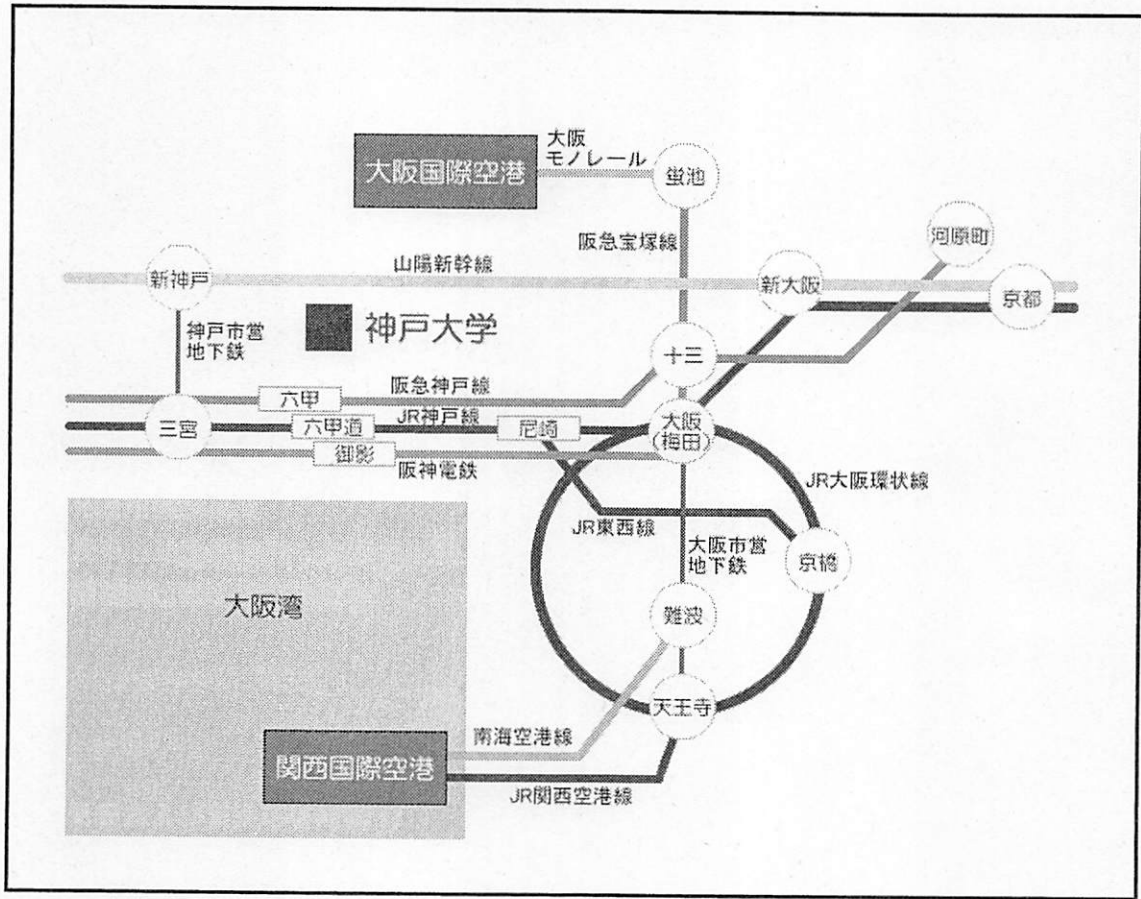
各セッションの最後に「**総括討論**」の時間を設けておりますが、利用できる時間は各セッションによってまちまちです。予定では時間がとれない場合もございます。この時間の活用方法は司会者にお任せいたしますので、必要に応じて早めに散会するなど、臨機応変に対応していただきますようお願い申し上げます。

交通案内



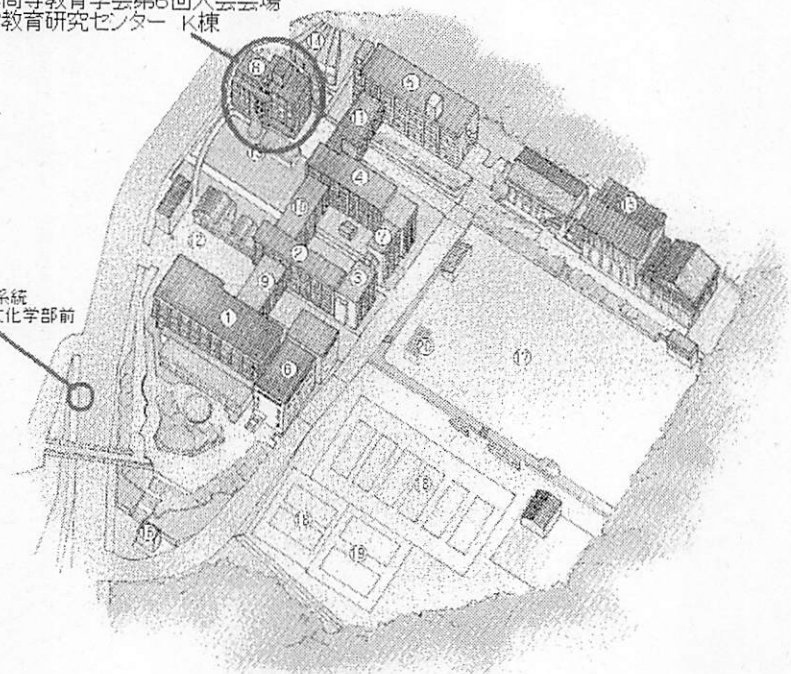
※阪急電車「六甲」、JR「六甲道」、阪神電車「御影」の各駅から市バス16系統「六甲ケーブル下」行乗車、「神大国際文化学部前」下車
※新幹線「新神戸」駅からタクシーで約15分

会場へのアクセス



日本高等教育学会第6回大会会場
大学教育研究センター K棟

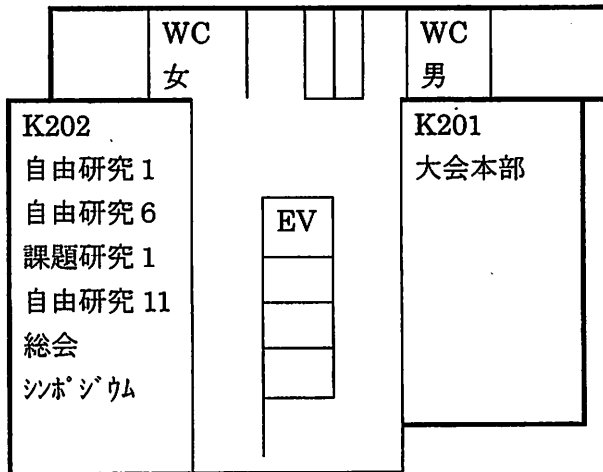
市バス16系統
神大国際文化学部前



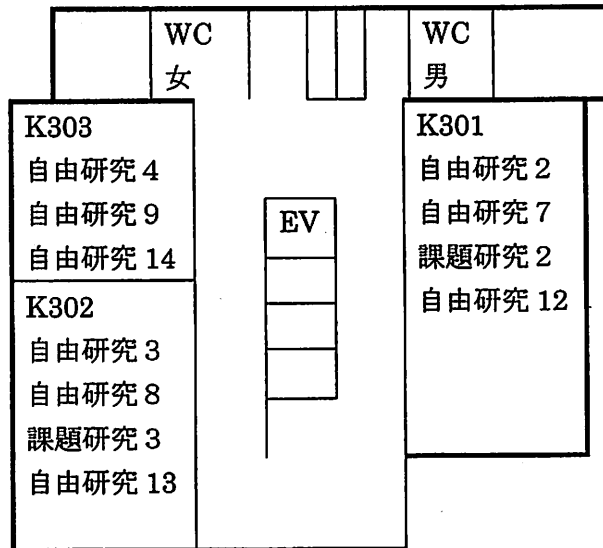
大会会場見取図

大学教育研究センターK棟

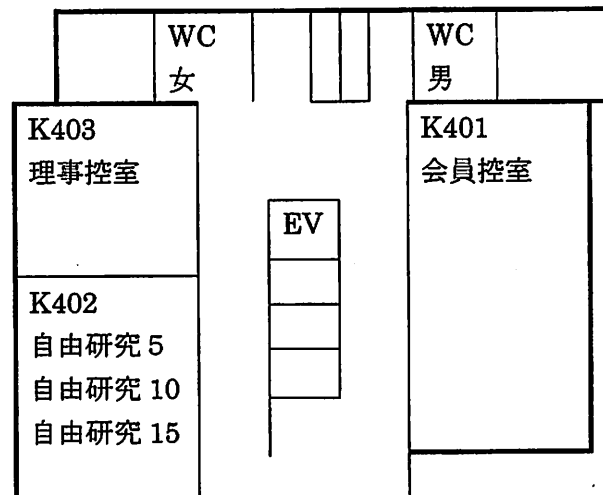
1 F



2 F



3 F



5月24日(土) 15:10~17:40 課題研究

1. 「大学財政の多元化とガバナンスー資金調達を中心にー」 会場 K202 教室

(趣旨) 昨年の課題研究「設置形態の再検討」を踏まえ、構造改革の第二弾として、大学ガバナンスと大学財務問題を取り上げる。今回はとくに大学資金の調達という切り口から大学の戦略的ガバナンスの重要性、および資金配分機能としてのファンディング評価のあり方に焦点をあて、アメリカや我が国の資金調達の実情を探り、併せて今後の課題について検討する。

「ガバナンスの次元」山本 清 (国立学校財務センター)

「大学評価と資源配分」館 昭 (大学評価・学位授与機構)

「科学技術政策と研究投資」小林 信一 (筑波大学)

コメント：渡辺 孝 (芝浦工業大学・理工学振興会)

司会：山野井 敦徳 (広島大学)

2. 「基礎学力の低下と高大の接続問題」 会場 K301 教室

(趣旨) 大学進学ユニバーサル化が現実のものとなり、学生たちの多様化も進んでいる。数年前から世間の注目の的となっている学生たちの「基礎学力の低下」はこうした学生たちの多様化に起因する部分が少なくないが、その根底により大きな社会的、教育的変化を指摘する声もある。基礎学力低下が何によって生じ、またどのように進んでいるのか、まず現状の確認作業を行いたい。ついで、ユニバーサル化段階の大学入試に求められる条件とは何か、また大学教育にはどのような備えが必要とされるのか、アメリカ等の事例を交えながら、新しい高等教育段階に対する高大接続について議論を深めたい。

「初中等教育改革が及ぼす影響」荻谷 剛彦 (東京大学)

「大学生の学習意欲に関する研究」柳井 晴夫 (大学入試センター)

「一年次教育とカレッジポートフォリオの可能性」濱名 篤 (関西国際大学)

「低学年層の存在と高大接続改革の二つの方法ーアメリカの事例からー」

尾中 文哉 (日本女子大学)

司会：荒井 克弘 (東北大学)

3. 「授業評価と教授法の相互作用」 会場 K302 教室

(趣旨) 授業評価は授業研究やそれを踏まえた新しい授業づくりに相互作用しつつ、教授者としての教員の成長と教授団の発達発展を支え導くものである。ここでは、現場で授業評価や授業改善に携わっている3名が、神戸大学、長崎大学、北海道大学、それぞれの現場での取り組みや課題・問題点を報告し、これからの授業評価のあり方について論じる。

「授業評価と授業研究」米谷 淳 (神戸大学)

「教育評価システムと授業改善」橋本 健夫 (長崎大学)

「日本語の技法と授業評価」小笠原正明 (北海道大学)

司会：濱名 陽子 (関西国際大学)

5月25日(日) 13:00~13:30 総会 会場 K202 教室

5月25日(日) 13:40~16:10 公開シンポジウム 会場 K202 教室

『グローバル時代における我が国高等教育の

Quality Assurance をどう実現するか』

(趣旨)

高等教育行政の規制緩和に伴い、従来の事前規制から事後評価を通じた質の保証制度への転換が構想されている。また今後定期的に、全ての高等教育機関は、第三者評価機関から、評価を受けることが決まっている。すでに国立大学を対象に大学評価・学位授与機構による第三者評価が開始され、大学基準協会も、その評価活動を一層充実させ始めている。また私立大学組織も、独自の評価組織の構築を検討中であり、さらに法科大学院についても複数の評価組織の設置が検討されている。このように、高等教育の質の保証をめぐる、様々な実践や構想が開始されている。複数の評価組織による多面的な評価は望ましいにしても、日本の高等教育システム全体として、世界的にも通用する評価システムをどのように構築すべきなのか、という高等教育の評価と質の保証に関する政策論議が欠如しているのではないか。そこで、シンポジウムでは、行政関係者、評価組織関係者及び研究者による討議を通じて、日本の高等教育の質の保証システムの目指すべき方向性を見出したい。

大森 不二雄 (文部科学省高等教育局視学官)

早田 幸政 (大学基準協会事務局大学評価・研究部長)

舘 昭 (大学評価・学位授与機構教授)

喜多村 和之 (早稲田大学教育学部特任教授・私学高等教育研究所主幹)

司 会 金子 元久 (東京大学教授)

自由研究発表 I

○印: 当日発表者

5月24日(土) 10:00~12:00 自由研究1 会場 K202

大学教育改善の国際的動向

司会: 山内 乾史(神戸大学)

1-1 ドイツにおける大学教授法をめぐる近年の動向について
(10:00)

○津田 純子(新潟大学)

1-2 教員評価・教育評価・FD
(10:20) -コロラド州立大学ボルダー校の事例から
○吉永 契一郎(新潟大学)

1-3 大学教育の改善を目指した教育と学習の支援・評価システムのあり方を考える
(10:40) -日米大学の事例比較から-
○山岸 みどり(北海道大学)
○佐藤 浩章(愛媛大学)

(11:10) 総括討論

5月24日(土) 10:00~12:00 自由研究2 会場 K301

管理・運営

司会: 濱名 篤(関西国際大学)

2-1 教育の一元的な管理運営システムの有効性の検討
(10:00)

○稲葉 めぐみ(茨城県立医療大学)
阿部 帥(茨城県立医療大学)

2-2 大学の組織運営に関する考察
(10:20) -ビジョナリー・ユニバーシティへの道-
○高野 篤子(聖徳大学)

2-3 戦略的な経営情報システムの開発と大学へのインパクト
(10:40) -「名古屋大学マネジメント情報」の事例を通して-
○中井 俊樹(名古屋大学)
○鳥居 朋子(名古屋大学)
○池田 輝政(名古屋大学)

(11:10) 総括討論

5月24日(土) 10:00~12:00 自由研究3 会場 K302
学生中心の大学教育 司会:吉田 文(メディア教育開発センター)

3-1 高等教育におけるメンタリング・プログラムの構造的特徴と類型
(10:00)

○渡辺 かよ子(愛知淑徳大学)

3-2 学生参加型授業に関する一考察
(10:20)

○石村 雅雄(鳴門教育大学)

3-3 大学教育における学生企画科目授業の位置付け
-金沢大学の試み-

(10:40)

○青野 透(金沢大学)

3-4 高等教育における「やる気が出る」学びの研究
-自己効力感とキャリア成熟度との関連-

(11:00)

○野口 和枝(秋草学園短期大学)

○稲越 孝雄(文教大学)

(11:30) 総括討論

5月24日(土) 10:00~12:00 自由研究4 会場 K303
研究評価・産学連携 司会:小林信一(筑波大学)

4-1 イギリスにおける新自由主義高等教育政策の形成
(10:00)

○横山 恵子(ロンドン大学教育研究所研究生)

4-2 研究評価の功罪
-イギリスを事例として

(10:20)

○秦 由美子(滋賀大学)

4-3 国立大学独立法人化後の研究者評価制度
~東京大学先端研の研究者評価制度への取組~

(10:40)

○馬場 敏幸(東京大学)

小林 俊哉(東京大学)

南谷 崇(東京大学)

4-4 大学の公共性と学外技術移転機関の意義
-大学の財源多元化の現状における限界と今後の可能性-

(11:00)

○出口 英樹(京都大学大学院)

(11:20) 総括討論

5月24日(土) 10:00~12:00 自由研究5 会場 K402
学生の流動化と国際化 司会:馬越 徹(桜美林大学)

5-1 学生の流動化と学士課程教育
(10:00) -全国大学調査にみる編入学と単位認定の実態-
小林 雅之(東京大学)
○吉川 裕美子(大学評価・学位授与機構)
○濱中 義隆(大学評価・学位授与機構)
○林 未央(東京大学大学院生)

5-2 高等教育サービスの貿易をめぐって
(10:30)
○塚原 修一(国立教育政策研究所)
大熊 和彦(財団法人政策科学研究所)

5-3 高等教育機関の国際進出問題
(10:50) -米国大学日本校の進出と撤退-
○鳥井 康熙(早稲田大学)

(11:10) 総括討論

自由研究発表Ⅱ

5月24日(土) 13:00~15:00 自由研究6 会場 K202
授業改善 司会:石村 雅雄(鳴門教育大学)

6-1

(13:00) 学生による授業評価の改善に向けた模索

- 橋本 健夫(長崎大学)
- 鈴木 慶子(長崎大学)
- 林 朋美(長崎大学)

6-2

(13:20) 地方国立大学改革期におけるFDプログラムの設計と実践

—長崎大学の事例—

- 井手 弘人(長崎大学)
- 長澤 多代(長崎大学)
- 天野 智水(長崎大学)
- 古賀 掲維(長崎大学)
- 林 朋美(長崎大学)
- 栗山 一孝(長崎大学)

6-3

(13:50)

学習ポートフォリオを用いた授業改善

—「ゴーイングシラバス」の活用と改訂を通して—

- 近田 政博(名古屋大学)
- 中井 俊樹(名古屋大学)
- 池田 輝政(名古屋大学)

(14:10)

総括討論

5月24日(土) 13:00~15:00 自由研究7 会場 K301
大学組織の変貌 司会:米澤 彰純(大学評価・学位授与機構)

7-1

(13:00)

日英大学のベンチマーク

—東大・シェフィールド大・オックスフォード大

- 小林 雅之(東京大学)
- 阿曾沼 明裕(名古屋大学)
- 間瀬 泰尚(東京大学)
- 両角 亜希子(東京大学大学院)
- 金子 元久(東京大学)
- 小方 直幸(広島大学)
- 大多和 直樹(東京大学)

7-2

(13:30)

ドイツ・ニーダーザクセン州における国立財団型大学の成立

- 金子 勉(大阪教育大学)

7-3

(13:50)

「国立大学法人」のシミュレーション

- 金子 元久(東京大学)

(14:10)

総括討論

5月24日(土) 13:00~15:00 自由研究8 会場 K302
理科教育、医療系教育 司会:阿部 和厚(北海道医療大学)

8-1

(13:00) ITを利用した大学における初習理科教育の展開

- 細川 敏幸(北海道大学)
- 小笠原 正明(北海道大学)

8-2

(13:20) 理系基礎科目の現代化
—光学教育革新の試み—
○神谷 武志(大学評価・学位授与機構)

8-3

(13:40) 筑波大学における医学教育改革

- 庄司 進一(筑波大学)

8-4

(14:00) 看護養成課程の大学化
—多様な養成のカリキュラムの現状と問題点—
○立石 和子(九州看護福祉大学)
吉本 圭一(九州大学)

(14:20)

総括討論

5月24日(土) 13:00~15:00 自由研究9 会場 K303
カリキュラム 司会:田中 義郎(玉川大学)

9-1

(13:00) 国立大学にみる「教養教育」像の多様性

- 杉谷 祐美子(早稲田大学)

9-2

(13:20) アメリカの一年次教育の構造
—2002年度4年制大学調査から—
○山田 礼子(同志社大学)

9-3

(13:40) 学際的カリキュラムにおけるプロジェクト科目に関する研究
—学際的な教育知識の実現様式として—
○岡田 佳子(筑波大学大学院)

9-4

(14:00) 大学教育のカリキュラムとしてのスタディ・アブロード・プログラム
—アメリカ中西部リベラルアーツカレッジの事例をもとに—
○長山 道代(早稲田大学大学院生)

9-5

(14:20) 学士課程カリキュラムの国際化
—1990年代以来の中国の大学を事例に—
○黄 福涛(広島大学)

(14:40)

総括討論

5月24日(土) 13:00~15:00 自由研究10 会場 K402
大学の機能変化 司会:佐藤 広志(関西国際大学)

10-1

(13:00) 家政学若手研究者の現勢
—日本家政学会を中心に—
○木本 尚美(広島大学大学院)

10-2

(13:20) 環境冠学科の設置メカニズム
—教員養成系学部を中心に—
○内山 弘美(東京大学大学院生)

10-3

(13:40) アメリカ大学における美術とスポーツ
—高等教育の“第三の機能”としての文化配信—
○山口 健二(岡山大学)
○松田 恵示(岡山大学)
○赤木 里香子(岡山大学)

(14:10)

総括討論

自由研究発表Ⅲ

5月25日(日) 10:00~12:00 自由研究11 会場 K202
教育評価 司会:丸山 文裕(国立学校財務センター)

- 11-1
(10:00) 米国アクレディテーションシステムの10年
~CHEAからみる日本への示唆~
○大佐古 紀雄(早稲田大学)
- 11-2
(10:20) 台湾における大学評価の歴史・現状・課題
○楊 武勳(早稲田大学)
- 11-3
(10:40) バーチャル大学の質的保証は可能か
○大多和 直樹(東京大学)
- 11-4
(11:00) 大学教育のパフォーマンス・インジケータ—
—そのモデルと適用—
○山崎 博敏(広島大学)
○葛城 浩一(広島大学)
岡田 典子(広島大学)
藤井 宣彰(広島大学大学院)
作田 良三(四国学院大学)
- (11:30) 総括討論

5月25日(日) 10:00~12:00 自由研究12 会場 K301
大学マネジメントの課題 司会:加澤 恒雄(広島工業大学)

- 12-1
(10:00) 大学を取り巻く環境変化に伴う大学職員の役割と位置づけに関する研究
○秦 敬治(西南学院大学)
- 12-2
(10:20) フランスの大学における事務の合理化と大学運営
○大場 淳(広島大学)
- 12-3
(10:40) 大学事務職員の能力開発方策に関する研究
○山本 眞一(筑波大学)
- 12-4
(11:00) 国立大学法人化後の経営戦略の動向と行動予測について
—国立大学法人化に伴う経営戦略予測企画調査の分析—
○高橋 真義(桜美林大学)
鳥居 聖(桜美林大学)
- (11:20) 総括討論

5月25日(日) 10:00~12:00 自由研究13 会場 K302
大学院・専門職教育 司会:伊藤 彰浩(名古屋大学)

- 13-1
(10:00) 社会人大学院の職業達成機能
—コンサルタント・大学教員・税理士/公認会計士に焦点をあてて—
○本田 由紀(東京大学)
- 13-2
(10:20) 社会人大学院における学習成果とその評価
○加藤 毅(筑波大学)
- 13-3
(10:40) 学習者としての大学院生
—工学系修士課程の分析—
○濱中 淳子(東京大学)
金子 元久(東京大学)
- 13-4
(11:00) 大学院教育の改革と学生評価
—阪大21世紀COEプログラムと原子力工学専攻—
○米谷 淳(神戸大学)
- 13-5
(11:20) 専門職教育のカリキュラム構築とその課題
—アメリカにおけるビジネス・スクールの歴史を通して—
○福留 東土(日本学術振興会特別研究員)
- (11:40) 総括討論

5月25日(日) 10:00~12:00 自由研究14 会場 K303
高等教育政策 司会:羽田貴史(広島大学)

- 14-1
(10:00) 地方自治体の高等教育政策と公立大学のゆくえ
○南 学(静岡文化芸術大学)
- 14-2
(10:20) 高等教育政策の制定過程の経緯について
—臨時的定員増政策について—
○鳥居 聖(桜美林大学)
- 14-3
(10:40) 国立大学財政のマクロ変動と分配メカニズム
—資本的支出に焦点をあてて—
○米澤 彰純(大学評価・学位授与機構)
- (11:00) 総括討論

5月25日(日) 10:00~12:00 自由研究15 会場 K402
東アジアの高等教育 司会:大塚 豊(名古屋大学)

15-1

(10:00) 中国高等教育における複数セクター制に関する研究
—計画経済体制時を中心に—
○陳 瑞娟(広島大学大学院)

15-2

(10:20) 中国農村の遠隔高等教育と学習者

今津 孝次郎(名古屋大学)

○劉 勇(名古屋大学大学院)

15-3

(10:40) 短期大学教育と産業との連携
—韓国の専門大学における注文式教育をてがかりに—
○渡辺 達雄(広島大学)

(11:00)

総括討論